広告

みやぎ県議会だより

令和7年
6月定例会特集
第155号

編集・発行　宮城県議会企画広報委員会
〒980-8570　仙台市青葉区本町３丁目８番１号
TEL 022（211）3592　FAX 022（211）3598

県立高校の魅力向上を

教育長「教科横断的学びに力」

第396回宮城県議会（6月定例会）は6月12日から30日までの19日間の日程で開かれた。物価高対策などを盛り込んだ12億2700万円の令和7年度一般会計補正予算など28議案と、米国の関税措置に対応した中小企業への支援策拡充などを国に求める議員提案の意見書3件を可決。一般質問では、県立高校の将来構想など教育関連の議論が活発に繰り広げられたほか、医療体制や障害者福祉の充実など安全安心な暮らしを求める声が相次いだ。

６月定例会の本会議

高校授業料の無償化対象が私立を含めて拡充することを見据え、県立高校の一層の魅力化を求める声が多くあった。

議員が「社会や生徒のニーズに対応し、生徒を確保するためには探究的な学びや地域連携など、普通科改革が重要になる」と訴えると、教育長は「高校教育は学習ニーズや社会経済環境の変化にも対応する必要があり、普通科においても従来の教科に加え、教科横断的な学びを取り入れることが重要。普通科の魅力化に全県で取り組む」と応じた。

「宮城にゆかりの人気アニメが多いことから、県立高校へのアニメ学科新設は、県の発展に資すると考える」との議員の提案に、教育長は「県立高等学校将来構想審議会での、時代や地域ニーズに応じた県立高校づくりの議論も踏まえ、今後求められる産業人材の育成に向けて、アニメ学科のような特色ある学科の設置も含めた教育環境の創造に取り組んでいく」と述べた。

小規模校の再編・統廃合に当たり「特色ある小規模校モデルを創出してはどうか」との議員の問いには、教育長が「小規模校では特に地域・社会資源の活用が必要だ。地域と密接に関わる探究的な学びに取り組み、地域への理解を深めることで、産業や地域の課題解決の担い手の確保・育成につなげたい」と考えを示した。

教育関連ではほかに、県教委が取り組む「志教育」の推進について議員が尋ねると、教育長は「地域社会と連携した体験活動に加え、地域の魅力を主体的に見い出し課題解決に取り組むことで、自己実現や地域貢献への意欲が見られている。児童生徒が多様化する社会に対応しながら未来の自分を主体的に見つけていくことができるよう、充実を図る」と強調した。

「授業時数の配分について、学校による一定の弾力的な運用が認められる『授業時数特例校制度』を活用し、特色ある探究学習を行うことで児童生徒の学習意欲が向上する」との議員の意見には、教育長が「児童生徒の資質・能力の育成に有効と認識している。市町村教委と情報共有し導入に向けて取り組む」と述べた。

台湾・香港・インド

国際交流積極的に

国際交流事業や観光施策への要望も多くあった。

台湾との教育交流促進を期待する議員に、知事は「県は海外への教育旅行に経費の一部を助成しており、台湾に関しては昨年度、七つの高校の交流を支援した。小中学校については本年度9校が来県予定で、さらに6校からはオンライン交流の希望がある」と報告。仙台―香港の路線維持を求める声には、土木部長が「アウトバウンド（出国日本人）需要の拡大にもしっかり取り組む」と強調した。

また、議員が「活発な交流が行われているインドとの外交方針はどうか」と尋ねると、知事が「幅広い労働力を供給できるポテンシャルの高い国。これまで培ってきた交流を基に経済交流を積極的に進めたい」と述べた。また、経済商工観光部長は「昨年は駐日インド大使館で交流イベントを、今年3月には県内でインドの投資環境などを紹介するセミナーも開催し、県内企業とインド経済団体との情報交換を行っている」と報告した。

議員が「インバウンド（訪日客）拡大に向け、多様な情報発信と案内整備が必要だ」と提案すると、知事は「案内板やパンフレットの多言語化など受け入れ環境の整備には、市町村と連携して取り組んできた。今後は観光ピクトグラムの活用も含め取り組みを進めたい」と応えた。

スタートアップ・外国人材活用・アンテナショップ…

産業振興推進へ 企業支援求める

産業振興や企業支援の観点からも議論がなされた。

議員が「スタートアップ企業の成長意欲と連動するような成果報酬型の支援制度を設計するべきだ」と提案すると、経済商工観光部長は「商品開発費などの2年間の補助金交付と5年間の伴走型支援により、これまで305件の創業を支援するなど一定の成果を挙げているが、支援期間後の事業継続サポートに課題もある。目標を達成した意欲ある企業が、県の支援制度の優先採択を受けられるようにするなど、制度の見直しを検討したい」と述べた。

「外国人材に選ばれる就労環境整備をどう考えているか」と議員が問うと、知事は「人手不足は深刻化していくと考えられるため、県では優秀な人材を多く送り出しているインドネシアに注力し、今年は大規模なジョブフェアを開催することで、多くの県内企業とのマッチングにつなげたいと考えている」とし、「企業に対しては採用・育成面などの環境整備を図るためのコンサルティングも実施していく」と説明した。

県産品を販売するアンテナショップが、東京・有楽町に常設オープンすることを受け、議員が「物産のみならず観光や教育で、各種事業の委託など連携協力が必要だ」と述べると、知事は「県の施策を進める上で首都圏は重要なターゲットであることから、店舗の機能や運営状況を見ながら、各種事業と連携して取り組めるよう努めていく」と話した。

福祉施策の拡充要望

県、少子化対策など強化

障害者支援の充実や少子化対策など、保健福祉の分野にも質問が相次いだ。

議員が「災害時に医療的ケア児者や障害児者の命を守るための県の役割をどう考えるか」と問うと、知事は「一人一人の状況に応じた避難支援の方法を定めておき、計画に基づく訓練によって実効性の向上を図ることが重要なことから、本年度は医療的ケア児の個別避難計画策定のためのモデル事業を実施する」との考えを示した。

歯止めのかからない出生数減少への所感を問う議員に対し、保健福祉部長は「非常に強い危機感を持っている。今後も、次世代育成・応援基金などの独自財源を活用しながら県庁一丸で少子化対策に取り組む」と述べた。

「出会いの創出や未婚対策が重要だ」と強調する議員には、保健福祉部長が「人工知能（AI）を活用したマッチング支援や婚活イベントを開催するほか、地域で活躍する女性を紹介するポータルサイトの運営など部局横断で取り組んでいる。引き続き強化したい」と見解を述べた。

「地域社会のつながりの希薄化、課題が複雑・多様化する中、民生委員の負担が増している」と議員が指摘すると、知事は「国では民生委員の負担軽減に向けて証明事務の廃止など通知を出しており、県でも市町村などと情報共有し、負担軽減に向けた検討を促している」と取り組みを説明した。

仙台医療圏の課題認識問う

県が主導した仙台医療圏の4病院再編構想のうち、東北労災病院（仙台市青葉区）が富谷市への移転を断念したことを受け、富谷・黒川地域での政策医療について問う声が上がった。

議員が、富谷市が誘致する新病院への県の支援について尋ねると、保健福祉部長は「誘致が実現すれば、救急受け入れ体制の強化や災害時の医療機能の確保が期待できる。新病院が周辺地区の各機関と連携・補完し合うことでその機能が十分発揮されるように対応していくことが必要だ」との考えを述べた。

また、仙台赤十字病院（太白区）と県立がんセンター（名取市）を統合して名取市に整備する新病院に関し、議員が「希少がんや難治がんについて、現在と同じような治療が受けられるのか」と懸念を示すと、保健福祉部長が「統合新病院でのがん診療の具体的な対応は、部門別ワーキンググループで検討しており、他病院との役割分担・連携を踏まえて必要な機能を維持できるように引き続き協議していく」とした。

県における救急搬送時間が全国平均より長い現状について議員が要因を問うと、知事は対応可能な医師の不在や空床不足を挙げ「急患に対応できる専門医の育成や退院コーディネーターへの支援を通じた空床の確保に取り組んでいる」と説明した。

議決した議案等

可決した意見書＜3件＞

- ○米の価格高騰対策と安定供給を求める意見書
- ○米国の関税措置に対応した中小企業等支援策の拡充を求める意見書
- ○診療報酬及び介護報酬の引上げを求める意見書

可決・承認・同意した知事提出議案＜28件＞

- ○公文書の管理に関する条例
- ○会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例
- ○職員の育児休業等に関する条例等の一部を改正する条例
- ○人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例
- ○職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
- ○職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例
- ○宮城県県税条例の一部を改正する条例
- ○財産の取得について（災害対策用資機材一式）
- ○工事請負契約の締結について（県民会館・ＮＰＯプラザ複合施設（仮称）新築工事）
- ○工事請負契約の締結について（県民会館・ＮＰＯプラザ複合施設（仮称）新築舞台機構等工事）　他

※議案等に対する各議員の表決状況については、県議会ホームページに掲載しているほか、議会図書室で閲覧できます。

質問者と主な質問項目

○一般質問（16人）

▽**大池康一**（公明）子育て環境の充実について、教育施策について　他▽**渡辺勝幸**（自民）宮城県と仙台市の連携について、子供たちの国語教育とスポーツ　他▽**ゆさみゆき**（県民の声）人権教育の充実「包括的性教育の導入」、今必要とされる地域医療提供体制　他▽**柚木貴光**（自民）インド共和国との国際経済交流について、宮城県における安全保障について　他▽**三浦一敏**（共産）村井県政5期20年について、米価高騰について　他▽**杉原崇**（自民）公立高校の魅力向上と制度課題について、国際交流の推進について　他▽**菊地忠久**（自民）高等技術専門校の再編整備について、県立高校の将来構想について　他▽**三浦ななみ**（県民の声）就労支援について、ひきこもり支援について　他

▽**さとう道昭**（自民）医療提供及び救急体制の諸課題について、少子化対策と子育て支援について　他▽**吉川寛康**（21世紀ク）少子化対策について、法定雇用率の充足について　他▽**八島利美**（自民）首都圏アンテナショップの多角的利活用、課題解決型地域運営組織の形成推進　他▽**外崎浩子**（自民）仙台市北西部の現状と今後の未来、民生委員が直面する課題について　他▽**小畑仁子**（県民の声）誰もが安全安心に暮らせる県政について▽**伊藤吉浩**（自民）農業関係について、土木関係について　他▽**ふなやま由美**（共産）物価高騰から県民生活を守る対策、4病院再編と医療をめぐる諸課題　他▽**藤倉知格**（自民）富谷市の病院誘致公募と県の対応、土葬をめぐる日本と世界の状況　他

＜会派名略称＞

自由民主党・県民会議（自民）、みやぎ県民の声（県民の声）、日本共産党宮城県会議員団（共産）、公明党県議団（公明）、21世紀クラブ（21世紀ク）、立憲・無所属クラブ（立無ク）、日本維新の会（維新）

予算特別委員会

６月26日に総括質疑を行い、その後、各分科会での審査を経て、物価高騰に対する支援に要する経費などを計上した令和７年度補正予算を可決した。

質疑者　村上智行、わたなべ拓（自民）、枡和也（県民の声）、藤原益栄（共産）、伊藤和博（公明）、熊谷義彦（立無ク）、阿部眞喜（21世紀ク）、石森ゆうじ（維新）、中島源陽（無所属）

常任委員会

○総務企画委員会

公文書の管理に関する条例、会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例、職員の育児休業等に関する条例等の一部を改正する条例、人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例、職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例、職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例、宮城県県税条例の一部を改正する条例、離島振興対策実施地域における県税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例など17議案

○環境福祉委員会

クレー射撃場条例の一部を改正する条例、青少年健全育成条例の一部を改正する条例、民生委員の定数を定める条例の一部を改正する条例など５議案

○経済商工観光委員会

なし

○農林水産委員会

なし

○建設企業委員会

なし

○文教警察委員会

学校職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例、警察官に対する被服の支給及び装備品の貸与に関する条例の一部を改正する条例など３議案

大震災復興調査特別委員会

大震災復興調査特別委員会は、４月14日及び７月10日に参考人意見聴取を行い、東京電力ホールディングスより、福島第一原子力発電所事故に起因する損害賠償の概要と進捗状況及び今後の方針等について説明を受けたほか、一般社団法人こころスマイルプロジェクトより、家族を亡くした子どもと親のグリーフケアについて説明を受けた。

鈴木憲和復興副大臣へ要望書を手交＝７月24日

５月12、13日には県内調査を行い、関係団体等から復興状況や災害公営住宅入居者の現状等について説明を受けたほか、東北電力女川原子力発電所の防災対策について現地視察を行った。

また、７月24日には復興庁に対して、震災からの復旧・復興対策に係る要望活動及び意見交換を行った。

議長記者会見

６月定例会中の６月26日、髙橋伸二議長が記者会見を行った。

一般質問などでの論戦を振り返り、「県立高校の魅力化などの教育関連、企業誘致や人手不足対策などの産業・雇用関連のほか、少子化対策やひきこもり支援などについて多くの議論が交わされた」と総括。「地域医療構想や救急医療体制など医療政策関連のほか、昨今の米不足や米価高騰への対策の在り方や、議員が海外視察に基づき質問した経済交流や教育旅行などについても、幅広い議論が行われたと感じている」と話した。

髙橋伸二議長

また、物価高騰の影響を受けた県民等を支援するため、追加提出された補正予算についても「予算特別委員会で活発に議論がなされた」と述べた。

県議会からのお知らせ

●県議会コンサートのご案内

◇次回コンサートの開催予定

- 開催日時／定例会開会予定日　９月３日（水）　午後０時５分～35分
- 場　　所／県議会庁舎　本会議場
- 出　　演／Orchestre de Sendai
- ジャンル／管弦楽
- 入 場 料／無料（申込不要）

●傍聴のご案内

本会議の傍聴について、傍聴を希望される方は、本会議開会日当日、議会庁舎１階にある傍聴受付へお越しください。

各委員会について、傍聴を希望される方は、委員会開会日当日、議会庁舎１階ロビーへお越しください。

詳細については、022（211）3571（総務課）までお問い合せください。

みやぎ県議会だより　検索

●ウェブ版みやぎ県議会だより

県議会をより身近に感じていただけるよう、写真を多く取り入れております。

宮城県議会　検索

●県議会ホームページのご案内

定例会の日程や会議録等をご覧いただけます。

宮城県議会中継　検索

●議会中継のご案内

インターネットで議会中継や録画映像をご覧いただけます。